

土壤医検定で得たもの

岐阜県立岐阜農林高等学校 園芸科学科 3年 竹村侑万琳

私は、岐阜農林高校の園芸科学科で、野菜や草花を育てるためのよりよい栽培環境づくりについて学んでいます。また、課題研究ではトマト専攻生として、安心安全でおいしいトマトを作るために化学農薬ゼロ栽培に取り組んだり、病害虫を防ぐために隔離土耕栽培の研究を進めたりしています。土壤を知ることは、よい作物を作るためには欠かせません。よりよい作物を育てるために土壤について学び、その知識を活用しています。

岐阜農林高校の園芸科学科では、土壤医検定3級を全員が受検しています。1年生の長期休暇の課題として土壤医検定の過去問題に取り組みました。そのおかげで、前もって土壤医検定に対する意識を持つことができました。そして、2年生の「野菜」の授業で本格的に学び始めました。

授業だけでは、すべての範囲を学びきることができなかった部分を、土壤医検定本番の約1ヶ月前から、先生が朝早くから補習をしてくださり、土壤について細かいところまで教えていただきました。私は朝が苦手だったので、毎日朝早くからの補習は大変でしたが、続けていくうちに、少しずつわかるようになって楽しいと思うようになりました。そして、毎日の自主学習で過去問題に取り組むことで、自分の苦手な問題を知り、対策することができました。また、試験当日の朝から先生が基本から徹底的に教えてくださったおかげで、自信をもって本番に挑むことができました。

初めは、土壤医検定は土壤についての検定なのかなと思っていました。でも、実際に勉強し始めると土だけでなく、作物や肥料、害虫のことなど園芸を学ぶ上で必要な知識がたくさんあり、それぞれが繋がっていることがわかりました。

私は、4年制大学の農学部に進学したいと考えています。今より、発展的な知識を学んでいきたいと思います。また、土壤医検定を受けたことで、毎日の積み重ねの大切さを知りました。普段から、計画的に学習を重ねることで、知識が身に付いていき結果につながるということ、身をもって知ることができました。

この経験を活かし、今後もコツコツと努力し続けていきたいです。

